

日本海学 シンポジウム

「能登半島地震を考える — 心のケアと文化財の保存 —

令和7年 **1月26日**  13:00~16:00

北日本新聞ホール
(富山市安住町2-14 北館2階)

**入場
無料**

オンラインによる視聴も可能です
入場・オンラインとも **要事前申し込み**

基調講演

「民俗文化財は災害から人を救えるか ~地域博物館とまちづくりの観点から~」

講師: **石垣 悟** (國學院大學 観光まちづくり学部 准教授)

パネルディスカッション

「能登半島地震を考える —心のケアと文化財の保存—」

コーディネーター: **秋道 智彌** (山梨県立富士山世界遺産センター 所長/日本海学推進機構 会長)

パネリスト: **石垣 悟** (國學院大學 観光まちづくり学部 准教授)

村上 綾子 (特定非営利活動法人 富山県防災士会 理事/富山県国土強靱化地域計画検討委員)

安嶋 是晴 (富山大学 学術研究部芸術文化学系 准教授)



2019年10月に「世界で最も美しい湾クラブ」の世界総会が日本で初めて富山県で開催されました。

「世界で最も美しい湾クラブ」とは…

ユネスコが支援する非政府組織(NGO)で、世界遺産のフランス・モンサンミッシェル湾、ベトナム・ハロン湾など、世界の選ばれた47湾(25か国1地域)が加盟し、湾を活用した観光振興や資源の保全を目的に活動しています。(1997年設立)

日本海学 シンポジウム

「能登半島地震を考える — 心のケアと文化財の保存 —

令和7年1月26日(日) 13:00~16:00

北日本新聞ホール **入場無料**

オンラインによる
視聴も可能です



※なるべく公共交通機関をご利用ください。
※富山駅より徒歩10分、または市内電車[県庁前]電停より徒歩1分

お申し込み方法

申込期限：1月22日(木)まで

- お申し込みフォーム
- メール
- 電話
- FAX

いずれかの方法でお申し込みください。

お申し込みフォーム

Webページはコチラ▶

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/iJ2FKv6j>



メール・電話

氏名、講座名、連絡先(電話番号・E-mailアドレス)、受講方法(会場又はオンライン)を明示のうえ、お申し込みください。

※オンラインで受講の場合は、受付後に設定方法などをお知らせしますので、E-mailアドレスが必要です。

FAX FAXでお申し込みされる方は、こちらをご活用ください。

氏名	フリガナ
連絡先	TEL
	E-mail
受講方法	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加

※□にチェックを付けてください。

お問い合わせ先

日本海学推進機構

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 (富山県国際課内)

TEL 076-444-3156 FAX 076-444-9612 E-mail: adm@nihonkaigaku.org

基調講演 13:10~14:10

民俗文化財は災害から人を救えるか ~地域博物館とまちづくりの観点から~

講師：石垣 悟 (國學院大學 観光まちづくり学部 准教授)

1974年秋田県生まれ。筑波大学大学院歴史人類学研究科退学後、新潟県立歴史博物館研究員、文化庁文化財調査官、東京家政学院大学准教授を経て、現在、國學院大學観光まちづくり学部准教授。富山県をはじめ静岡県や高知県などで文化財保護審議会委員を務める。専門は民俗学、博物館学、文化財保護論。主な著作に『日本の民俗4食と農』(共著、吉川弘文館 2009年)、『来訪神 仮面・仮装の神々』(共著、岩田書院 2018年)、『日本の食文化5酒と調味料・保存食』(編著、吉川弘文館 2019年)、『まつりは守れるか』(編著、八千代出版 2022年)など。新潟県立歴史博物館時代に中越地震による旧山古志村の民俗資料の救出などにあたる。文化庁時代に東日本大震災による陸前高田市立博物館の文化財レスキューに携わる。



パネルディスカッション 14:25~16:00

能登半島地震を考える — 心のケアと文化財の保存 —

コーディネーター：秋道 智彌 (山梨県立富士山世界遺産センター 所長
日本海学推進機構 会長)

京都府生まれ。京都大学理学部動物学科卒業、東京大学大学院理学系研究科人類学専攻博士課程修了。理学博士。国立民族学博物館民族文化研究部長、総合地球環境学研究所副所長、研究推進戦略センター長を経て現職。現在、日本海学推進機構会長。海洋政策研究所特別研究員。専門は、生態人類学。海洋と人類の多様な問題を多角的な視点から調査・研究している。近著としては、『海のジェンダー平等へ』(共編著、西日本出版社 2024年)、『明治~昭和前期 漁業権の研究と資料』(全2巻)(臨川書店 2021年)、『富山湾 一豊かな自然と人びとの営み』(共編著、桂書房 2020年)、『たたきの人類史』(玉川大学出版部 2019年)ほか多数。



パネリスト：石垣 悟 (國學院大學 観光まちづくり学部 准教授)

パネリスト：村上 綾子 (特定非営利活動法人 富山県防災士会 理事
富山県国土強靱化地域計画検討委員)

1967年富山県富山市生まれ。防災士。防災・減災の講演を富山県内各地で担当。小学校~高校まで、気候変動等環境と災害の関連を含めた防災の出前講座も行い、多様性に配慮した避難所運営や、フェーズフリー防災に取り組んでいる。令和6年元日の地震で地元の避難所運営に関わる。地域特有の気候や地形、文化をふまえて各種団体とともに能登半島への支援活動も継続中。



パネリスト：安嶋 是晴 (富山大学 学術研究部芸術文化学系 准教授)

1969年北海道生まれ。富山大学経済学部卒業後、民間企業勤務を経て、福井県立大学大学院経済経営学研究科(博士課程)満期修了。経済学博士。ふくい県民活動センター、輪島商工会議所、金沢大学を経て2018年より現職。専門は文化政策、伝統産業。発災以降、倒壊した土蔵から救出された漆器などの洗浄ボランティアを企画し、現在は高岡で作業を継続中。主な著書に『輪島漆器からみる伝統産業の衰退と発展』(単著、晃洋書房 2020年)、『産業観光と地方創生』(共著、筑波書房 2023年)など。



HP▶ <http://www.nihonkaigaku.org/>

